

第 3 2 回鴨川市史編さん委員会会議録

- 1 日 時 平成 27 年 6 月 18 日 (木)
午前 11 時 5 分～午後 2 時
- 1 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 1 出席委員 5 名 (欠席なし)
三浦茂一・中嶋八良・藤崎史正・小谷善親・佐藤恵重
- 1 事務局 文化振興室長 石川 丈夫
主査 高橋 誠
- 1 傍聴者 なし

- 1 本日の協議事項
- (1) 平成 26 年度事業報告について
 - (2) 平成 27 年度事業計画(案)について
 - (3) あゆみの校閲について
 - (4) 次回会議の公開又は非公開について

開 会 午前 11 時 5 分

- (1) 事務局は、全委員出席のもと会議を開会する旨を告げ、公開の会議だが傍聴の申込はなかった旨を報告。
- (2) 石川文化振興室長よりあいさつを行った。
- (3) 事務局より日程・資料の説明を行った。

議 事

事務局は、議長は鴨川市史編さん委員会設置条例第 5 条第 1 項の規定により、三浦委員長に願う旨を告げた。

会議録署名委員の指名

- (1) 議長は、会議録署名人の指定について諮る旨を告げた。
- (2) 議長は、鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 の 3 (会議録の作成) により議長の指名で、全員異議なく次の委員を選定、承認された旨を述べた。

佐藤 恵重 委員

議事の説明

議長は、議事「(1) 平成 26 年度事業報告について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(1)については、高橋主査が報告と説明をした。

協議

議長は、これより議事（1）について質疑及び意見を求めた。

中嶋委員 ・大山のあゆみ増刷後の反響はどうか。

事務局 ・3月納品のため、販売開始は4月。これから状況が判明する。

議長は、ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(1) 平成 26 年度事業報告について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、議事「(2) 平成 27 年度事業計画(案)について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事（2）については、高橋主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事（2）について質疑及び意見を求めた。

議長 ・『吉尾のあゆみ』の表紙の色について、事務局案はあるか。

事務局 ・これまでと重ならない色となると、藤色系もしくはレモン色系。

中嶋委員 ・『西条村誌』が青系なので藤色はそちらが良い。

議長は、ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(2) 平成 27 年度事業計画(案)について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、会議の再開を告げ、質疑及び意見を求めた。

議事の説明

議長は、議事「(3) 『吉尾のあゆみ』の校閲について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事（3）については、高橋主査が説明をした。

前回までの修正事項のまとめについて、佐藤委員が説明をした。

協議

議長は、これより議事（3）について質疑及び意見を求めた。

- 中嶋委員 ・「原政夫」氏は「原正夫」が正しいと思う。
- 佐藤委員 ・「旧蠟」が難しいので、フリガナをつけた上で、「去年の暮れ」と括弧書きを加える。
- 藤崎委員 ・記事の引用部分について、記事とわかりやすくしたらどうか。
- 議 長 ・言葉使い、昔の言葉をどうするか。「黒河省」「匪賊」など。
- 議 長 ・文章が長くなる。
- 藤崎委員 ・フリガナをつけておき、後は調べてもらう。
- 佐藤委員 ・「黒河省」は「(中国東北部)」、「匪賊」は「(盗賊)」とつけ加える。
- 佐藤委員 ・「王道楽土」という言葉もある。満州から手紙が来る理由がわからないかもしれないので、「植民地化した時のスローガン」と括弧書きを加えたらどうか。
- 議 長 ・「植民地」は入れたほうがよい。

議長は、ここで会議を一時休憩とする旨を告げた。

休憩：午後 12 時 05 分から午後 1 時まで。

- 佐藤委員 ・「学校の製品」をもう少し詳しくし「学校で作られた生徒の作品」とする。
- 藤崎委員 ・「授ける」の表現でよいか。その言葉で終わる文章が 2 回続く。
- 中嶋委員 ・前のページにもある。
- 佐藤委員 ・前ページは、わかり易くするために「授ける」を「授業」に変える。このページはそのまま「こととする」に語尾を変える。
- 中嶋委員 ・大正学院の出身者で著名な人はいるか。公民館が作成した「ふるさと吉尾」に名前がある。尾形利二日大教授、東京甘栗協会長磯貝博、俳優・石井寛治、川崎清太郎裁判官、東条村長の杉田博、長狭町助役の佐久間達雄など。他の学校では出ているのでつけ加えてほしい。
- 佐藤委員 ・追加します。
- 中嶋委員 ・「落合牛涎の屋敷」とあるが、明治 26 年生まれなのでこの時は親の世代。この表現だと誤解しないか。
- 議 長 ・括弧書きとするか。
- 小谷委員 ・「の父」とするか。
- 佐藤委員 ・「落合家（匡太郎・初代長狭町長の生家）」とします。
- 佐藤委員 ・「蓬頭瘦軀」「粗服幣履」にはフリガナをつけます。
- 佐藤委員 ・太田和氏の頌徳碑の撰文は恩田城山（旧長尾藩士）なのでつけ加えます。
- 佐藤委員 ・「松平藩」とあるが、どこの藩かわからない。頌徳碑だと松平が本姓となっている。
- 藤崎委員 ・出典はなにか。

- 議 長 ・少し調査してみる。
- 佐藤委員 ・高林先生にも確認してみる。
- 佐藤委員 ・もう少しわかりやすくして「にあった松代藩（真田家）」とする。
- 藤崎委員 ・「招聘」はフリガナが必要か。
- 佐藤委員 ・難しい言葉なので「先生を招き」とする。
- 藤崎委員 ・吉尾分校の時間割はどうなっているのか。
- 佐藤委員 ・1日ではないか。長狭高の記念誌を確認してみる。
- 佐藤委員 ・「死亡した」を「死亡する事故もあった」とする。
- 佐藤委員 ・「不時呼集」がわかりにくいのでフリガナをつけた上で「(臨時)」といれる。
- 中嶋委員 ・人物の項には吉尾村出身の県議5人のうち2名しか載っていない。他の地区の県議はほぼ載っている。前のページで永井益夫は掲載されているが、こちらに移すべきでは。
- 藤崎委員 ・他の2人は誰か。
- 議 長 ・栢尾文八郎、渡辺実の2人。永井益夫も移して、2人も追加してもよいのではないか。
- 佐藤委員 ・高林先生に相談して追加する。
- 藤崎委員 ・「県属」か「属」か。
- 議 長 ・「属」という位。
- 佐藤委員 ・「(役人)」を追加する。
- 佐藤委員 ・「大連市」の後に「(現中国。当時は日本の租借地)」と加える。
- 中嶋委員 ・古泉千樫のところで、最後に地元出身の弟子を加えられないか。安田稔郎や杉田博など活躍した人がいる。鴨川とも関係が続いていたことを示したい。
- 佐藤委員 ・高林先生に相談して追加する。

ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(3)『吉尾のあゆみ』の校閲について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、記事「(4)次回会議の公開又は非公開について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(4)については、高橋主査が説明をした。

- ・平成27年11月頃に第33回市史編さん委員会を予定している。
- ・内容は、『江見のあゆみ』の校閲について、次回会議の公開又は非公開について、である。

以上のような次第で、あえて非公開としなければならないような内容ではないと

思う旨を述べた。

協 議

議長は、これより、議事（４）について質疑及び意見を求めた。

全委員 ・公開で良いだろう。

議 決

議長は、議事「（４）次回会議の公開又は非公開について」は、「公開」とすることに委員全員の賛成をもって決した旨を告げた。

議長は、以上で議事を終了した旨を告げた。

事務局は、その他について意見を求める旨を告げたが、意見なく、本日の日程は全て終了したので、第 32 回鴨川市史編さん委員会会議の閉会を宣した。

閉 会 午後 2 時

以上会議の顛末を記し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 27 年 6 月 23 日

署 名 委 員

委 員 佐藤 惠重
